

能 土蜘蛛 つちぐも

僧・土蜘蛛の精 津村禮次郎

源頼光 中所宣夫

胡蝶 石井寛人

独武者 野口能弘

武者 野口琢弘

アイ 小笠原弘晃

シテ 山賊 小笠原匡

アド女 小笠原弘晃

後見 泉慎也

後見 泉慎也

後見 泉慎也

後見 泉慎也

後見 泉慎也

後見 泉慎也

後見 泉慎也

後見 泉慎也

後見 泉慎也

後見 泉慎也

後見 泉慎也

後見 泉慎也

後見 泉慎也

後見 泉慎也

後見 泉慎也

後見 泉慎也

後見 泉慎也

後見 泉慎也

後見 泉慎也

後見 泉慎也

後見 泉慎也

後見 泉慎也

後見 泉慎也

後見 泉慎也

後見 泉慎也

後見 泉慎也

後見 泉慎也



津村禮次郎 Reijiro Tsumura

能楽師シテ方親世流。緑泉会会主。重要無形文化財(能楽総合)指定保持者。(社)日本能楽会、公益社団法人 能楽協会会員。二松学舎大学文学部特任教授。一橋大学社会学部講師。大学在学中に一橋親世会に所属し、女流能楽師の開祖、津村紀三子に師事。1969年親世流師範。74年に緑泉会会主。91年重要無形文化財保持者に認定される。79年より小笠原能を企画制作。古典能の公演のほか指導者として若手の育成にもつとめる。また新作能、創作活動、海外公演も多く、アレッシオ・シルベストリン、森山開次などのダンサーとも共作、共演している。2010年度文化庁文化交流使としてロシア、ハンガリーで指導交流を行う。著作に「能狂言図典」「能がわかる100のキーワード」。また「舞幻-BUGEN」を出版。その他、写真集「能」(PIE BOOKS)等に多数掲載される。過去5年間の活動記録の映画「躍る旅人・能楽師津村禮次郎の肖像」(三宅流制作監督)が公開される(2015.6.27)



小笠原匡 Tadashi Ogasawara

公益社団法人・能楽協会会員日本能楽会重要無形文化財総合指定保持者。1965年 東京生まれ。野村萬(人間国宝)、故八世野村万蔵、九世野村万蔵に師事。18歳で門閥外から入門、10年間の内弟子修行を経て独立後は第一線で活躍、古典から新作への出演、NHK『義経』『ごちそうさん』での芸能・所作指導他、その活動は多岐に渡り、桃山学院大学地域連携共同研究プロジェクトでは、ヴェネツィア大学にて狂言とイタリア伝統仮面劇コンメディアアツラルテのシンポジウム、公演を行う。2018年5月にはパリを代表する演劇集団『太陽劇団』での狂言ワークショップを担当。2019年2月ジャポニズム2018能楽パリ公演出演。フランスはパリ、リヨンを始め、ブラジル、ハンガリー、アルジェリア他世界各国にて公演を行い、狂言の普及に努めている。現在、萬狂言関西支部代表、千葉大学・放送大学京都学習センター客員教授。<https://www.atelier-oga.com>



森山開次 Kaiji Moriyama

21歳でダンスを始める。2001年エディンバラフェスティバルにて「今年最も才能あるダンサーの一人」と評された後、ソロダンス作品の発表を開始。05年『KATANA』で「驚異のダンサー」(ニューヨークタイムズ紙)と評され、07年ヴェネチアビエンナーレ招聘。12年発表『曼茶羅の宇宙』にて芸術選奨文部科学大臣新人賞他3賞受賞。13年文化庁文化交流使。18年『不思議の国のアリス』全国17都市ツアー、19年『ドン・ジョヴァンニ』でオペラ初演出等、現代のダンス界を牽引するアーティストの一人である。NHK教育『からだであそび』レギュラー、『課外授業・ようこそ先輩』『日曜美術館』『情熱大陸』などメディア出演多数。津村禮次郎氏とは能をモチーフとしたダンス作品を創作。国内外で上演を重ねており、本作が11作目となる。<http://kajimoriyama.com>

Photo ©石塚定人



大前光市 Koichi Omae

交通事故で左足を失ったダンサー。大阪芸術大学 舞台芸術学科舞踊コース卒業。Chacott『トリビュア』イメージキャラクター。関西大学人間健康学部 客員教授。しながわ2020スポーツ大使。岐阜県より芸術文化奨励賞を授与。米国アーティストビザ(O-1)所得。左足を失ってから10年後、国内外のコンクールにて一位を多数受賞。2016年リオデジャネイロの大舞台にて片足4回連続バク転をし世界中を驚かせる。17年紅白歌合戦にて平井堅と共演。後日NHKスペシャルでの特集が大反響を呼ぶ。18年米国ラスベガスにてJABBA WOCKEEZと共演、大成功を収める。宮本亜門、鼓童、山本寛斎、AI(歌手)、MIYAVI、SAM(TRF)、白石加代子、津村禮次郎、辻本知彦との仕事と、多方面の活躍で、いま日本で最も注目度の高いダンサーの一人。



小笠原弘晃 Hiroaki Ogasawara

2001年佐渡生まれ。野村萬(人間国宝)、九世野村万蔵及び父に師事、3歳で初舞台『朝猿(大名野村萬)』を踏む。以降定期的な舞台を勤め、活動は海外に及ぶ。2017年にはパリ日本文化会館20周年記念特別狂言公演に出演。2017年5月ハンガリー・ブダペスト初の狂言公演にてシテを勤め、同年7月には野村万蔵家襲名披露公演にて『千歳』を抜く。2017年8月延年之會にて『奈須与市語』を抜く。2018年アルジェリア初狂言公演に出演。2019年2月ジャポニズム2018能楽パリ公演参加。2012年公開、阪本順治監督作品・吉永小百合主演東映創立60周年記念映画『北のカナリアたち』出演。同監督作品2016年公開、藤山直美主演キノフィルムズ映画『団地』出演。現在パリ留学中。

創作ダンス 雨ニモマケズ

森山開次 チェロ 多井智紀  
津村禮次郎 箏 澤村祐司  
大前光市 笛 田中義和  
作曲 澁谷牧人

狂言 瘦松

やせまつ  
小笠原匡 後見 泉慎也  
野口能弘 後見 泉慎也  
野口琢弘 後見 泉慎也  
小笠原弘晃 協力 一橋大学 観世会

Photo ©Shigeru Inoue

演目解説

◇能 土蜘蛛  
古典能「土蜘蛛」は、代表的な鬼物の能である。源頼光が都守護の武者の棟梁で数々の武勇伝で知られる。大和葛城山の奥深く棲む土蜘蛛の一族は次第に生息の領域を狭められ、頼光に恨みをもっている。その魔力で頼光を苦しめるが、ついには帝の威力と武者たちの武力に屈してしまう。滅びゆく者の悲しさも何れも大活劇能である。

狂言 瘦松

山賊が山中で女を長刀で脅して持ち物の袋を奪い取る。ところが中身を物色して喜んでる隙に、女に長刀を奪われてしまい、袋を奪い返されて...。「瘦松」は山賊言葉で獲物が無く実入りが悪い事を言い、反対に大収穫の事を「肥松(こえまつ)」と言います。

創作ダンス 雨ニモマケズ

音響・照明 橘田克己 地元協力 春日神社能舞台保存会  
岩手花巻を中心に詩作、小説、音楽に才能の花開かせた宮澤賢治、その生きざまと作品をダンス作品にコラージュする。  
大前光市は今回佐渡薪能初参加、リオパラリンピックのパフォーマンスで知られるが、森山開次、津村禮次郎とのコラボは見逃せない。音楽陣は初ダンス作品作曲に挑む澁谷牧人、宮澤賢治作品には必須のチェロ・多井智紀、全盲の箏奏者・澤村祐司、能管と篠笛を自在に奏す田中義和で魅力的なアンサンブルである。

チケット取り扱い アース・セレブレーション公式ホームページ <https://www.earthcelebration.jp> (一社)佐渡観光交流機構 佐渡観光情報案内所(両津港佐渡汽船ターミナル内) 相川観光案内所(きらりうむ佐渡内) お問い合わせ (一社)佐渡観光交流機構 ☎0259-27-5000



■能舞台に駐車場はございません。臨時駐車場(無料)または下戸交差点近くの公営駐車場(無料)をご利用ください。  
新潟港 ⇄ 両津港...カーフェリー2時間30分  
ジェットフォイル1時間5分  
直江津港 ⇄ 小木港...高速カーフェリー1時間40分  
【佐渡航路のお問い合わせ】  
佐渡汽船 <http://www.sadokisen.co.jp>  
【港から車で会場へ】両津港から約60分/小木港から約85分  
【路線バスで会場へ】(本線)相川下戸下車徒歩約5分  
(七浦海岸線)御番所橋下車徒歩約5分  
■終演後、【佐和田經由小木行き】の送迎バスを運行します。  
【送迎・路線バスのお問い合わせ】新潟交通佐渡 ☎0259-57-2121

アース・セレブレーション2019 8.16(金) ▶ 8.18(日) 会場=新潟県佐渡市小木地区 他  
主催・お問い合わせ=アース・セレブレーション実行委員会 ☎0259-81-4100 E-mail: ec-info@kodo.or.jp <https://www.earthcelebration.jp>